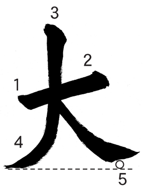
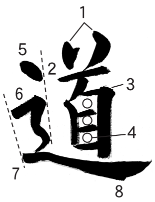
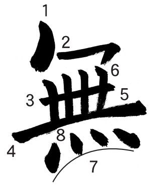
ポイント解説（担当：笹嶋健人）



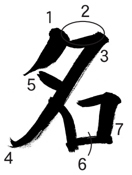
1、紙面の中心近くに45度で
2、筆管の角度は変えずに送筆
3、左寄りに高いところから真下へ
4、そりすぎぬ様に下部少し
5、左払いより少し上で終わる
6、十分に長く伸びやかに払う



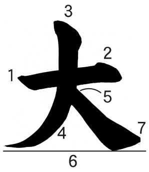
1、高さを変えて縦ぎみに入る
2、「⻌」のことを考え短く
3、2と同じ幅でスッキリ細く
4、中の空間は均等に
5、高さに注意し太く大きく
6、角張らぬ様に柔らかく
7、点線の位置を見て内から
8、角をつけ長く鋭く払う



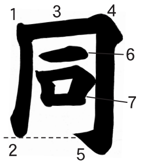
1、柔らかく太く縦ぎみに
2、1の中心から細く右上りに
3、2より少し長く平行に
4、左より十分張り出し太く
5、スピード速く鋭く強く
6、4本の幅は均等に右上りに
7、点は山なりに6と離して
8、リズム良く角度に注意



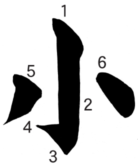
1、太く短く払い出す
2、幅を見て真横へ入る
3、穂先を返し1と平行に払う
4、十分に長く腕を引いて
5、1の終筆部より90度で打つ
6、中が縦長になる様に
7、内へ入りすぎぬ様に
8、全体偏平にならぬ様に注意



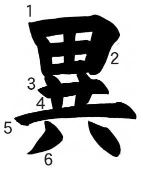
1、45度で起筆し右上りに
2、筆管の角度は変えずに送筆
3、高い位置から太く起筆
4、大きくそらせて丁寧に
5、接点は少し下へずらして
6、4と同じ高さまで引く
7、一度止め太く短く払う



1、筆を縦に入り徐々に加圧
2、外へ押し出す様に
3、右上りにし長さに注意する
4、穂先を突き直し太く真下へ
5、2をこえた所で真横へ
6、遠くから筆を置くイメージ
7、大きさに注意し横広に

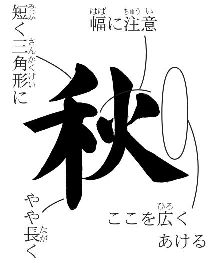


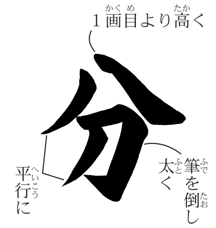
1、斜め45度で太く起筆
2、長く垂直に筆管一定に保つ
3、穂先をまとめる様に真横へ
4、押し出さず筆を引いて
5、1の真ん中から太く払う
6、5と高さ等しく同じ大きさ

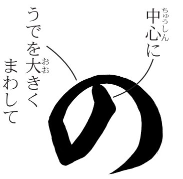


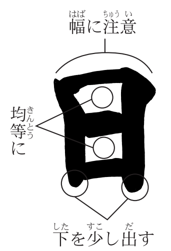
1、「田」はやや横広に
2、縦画は太く内へ入る
3、幅取り過ぎず1を越えない
4、垂直に降ろし長目に
5、穂先を軽く突きスピード速く運筆し長く太く
6、左右4の下より大きく長く

〈画数の少ない字を大きく！〉


短く三角形に
幅に注意
ここを広くあける
やや長く

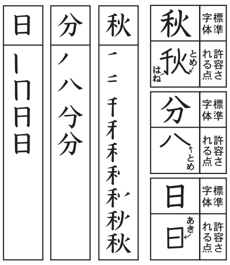

1画目より高く
筆を倒して
太く
平行に


中心に
うでを大きくまわして

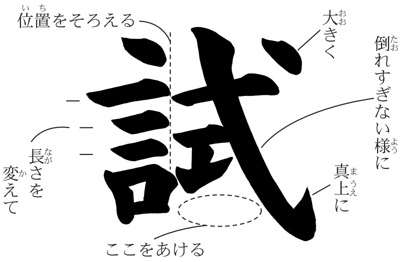

幅に注意
均等に
下を少し出す

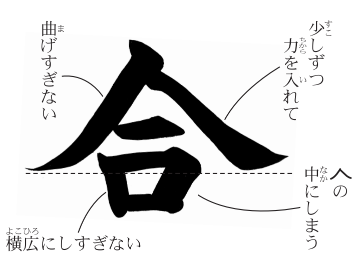
「秋分の日」

今年の秋分の日は日曜日。3連休の真ん中だ。秋になりだんだんすずしくなって来たね。


秋
標準字体
秋
とめ
はね
許容される点
分
標準字体
分
八
とめ
許容される点
日
標準字体
日
あき
許容される点
秋
分
日

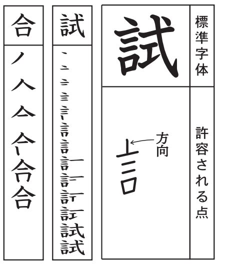
〈直線的に線を引こう！〉


位置をそろえる
大きく
倒れすぎない様に
真上に
長さを変えて
ここをあける

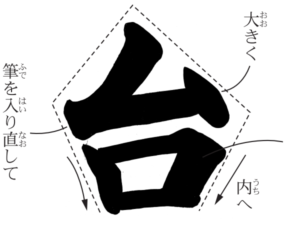

少しずつ力を入れて
曲げすぎない
への中にしまう
横広にしすぎない

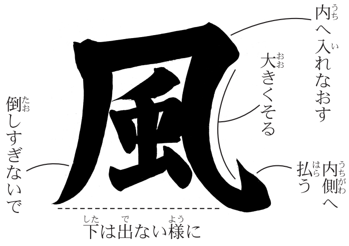
「試合」

一回負けたら試合終了。オリンピックには、負けられない戦いがある。みんなで応援しよう！


試
標準字体
方向
許容される点
試
合

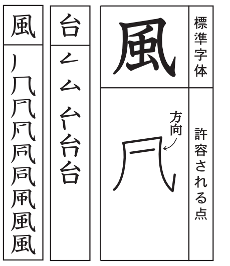
〈全体の形をよく見よう！〉


大きく
筆を入り直して
横広に
内へ

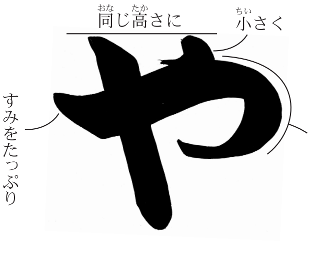

内へ入れなおす
大きくそる
内側へ払う
倒しすぎないで
下は出ない様に

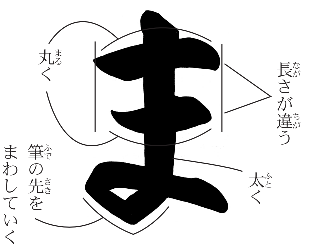
「台風」

今年も台風がいっぱい来るかな？ 風と雨が強くて、雨にあたって風邪ひかないようにね。


風
標準字体
方向
許容される点
台
風

〈筆の先をまわそう！〉

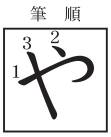

同じ高さに
小さく
大きくうでをまわして
すみをたっぷり


丸く
長さが違う
太く
筆の先をまわしていく

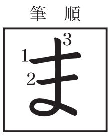
「やま」

やまのぼりは注意が必要。しっかりと準備をしてから、のぞもうね。

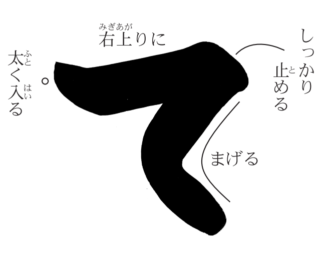
筆順

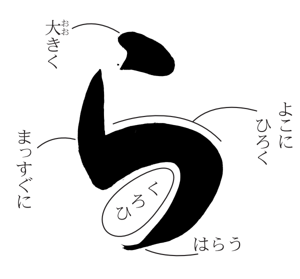


筆順



〈ゆっくりとかこう！〉

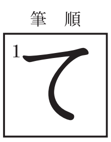

右上りに
しっかり止める
太く入る
まげる

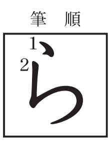

大きく
よこにひろく
まっすぐに
ひろく
はらう

「てら」

おてらには大きな木がいっぱいある。そこには、何年もかけて大きくなった森がある。自然は大切にしよう！

筆順



筆順